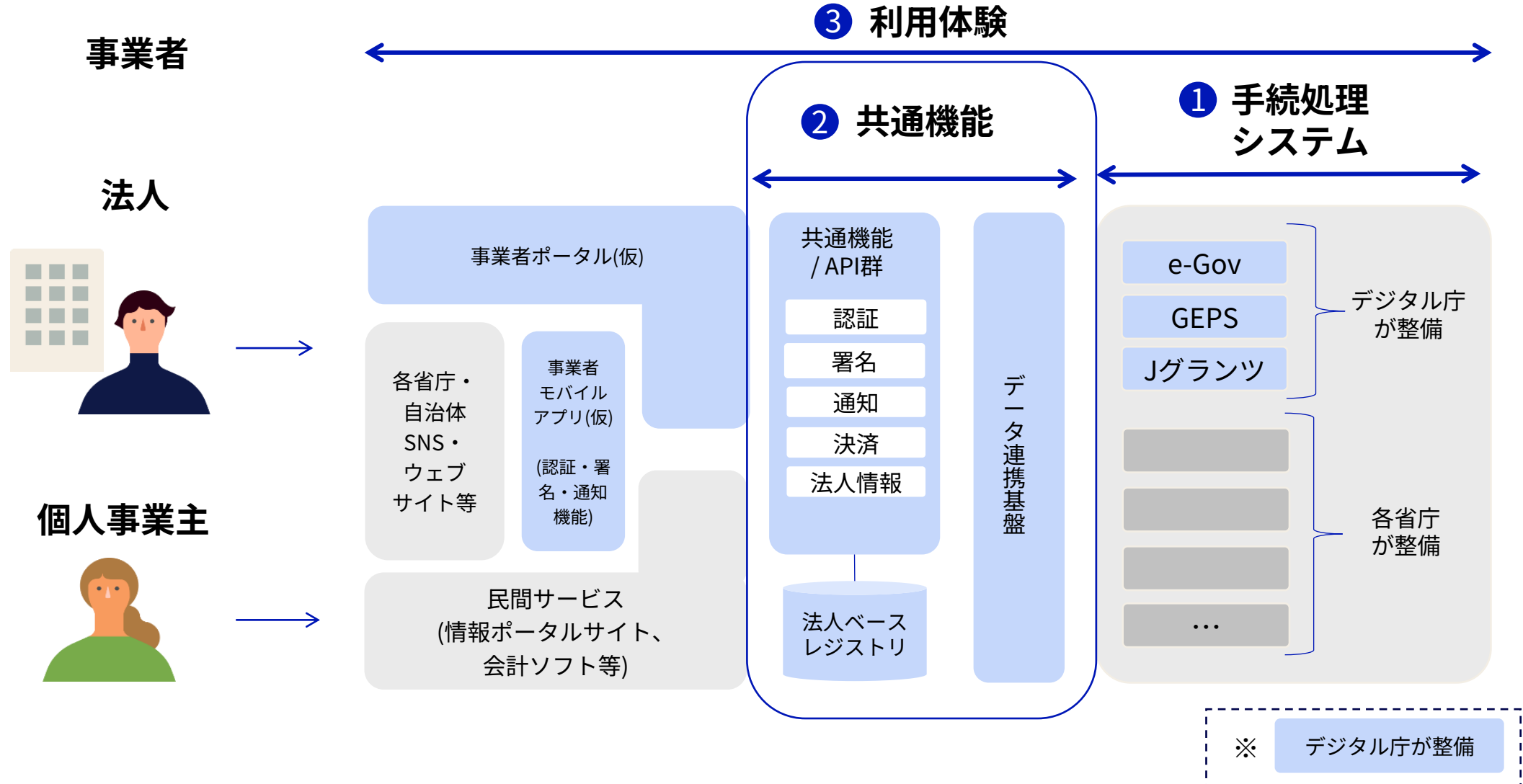


事業者向け行政手続システム整備に向けた調査の現状

事業者手続タスクフォース（旧デジタル臨調作業部会で発表）

事業者向けの行政手続システムについて全体整理を進める



事業者向け行政手続の全体像整理に向けた調査実施について

(第一回本省庁連絡会議で発表)

- ◆ 各省庁の事業者手続のデジタル化の支援を行うために、まずは現状把握として各省庁の行政手続や補助金申請の状況を把握するための調査を実施。
- ◆ その上でデジタル庁で整備している共通機能（GビズID、Jグランツ、e-Gov等）を活用したデジタル化を各省庁に対してサポートしていくための整備計画を整理し、デジタル庁が各省をサポートしながらデジタル化を進めていく道筋を整理する。

0.現状の整理

手続の現状

- 各省庁でプラットフォームサービスを利用したデジタル化が進行
- 共通機能が認知されておらず、各省庁への導入が進んでいない。
- 行政手続の類型に応じたプロセスの標準化やシステム標準化が実施されていない。
- 費用対効果が合わない手続については、依然として紙で行われている。

1. 各省庁への調査

各省庁へのアンケート/調査

※本調査は調査ツール(CRM)を用いて実施

行政手続ID	手続名	実施状況	手続主体	種別	手続フロー	決裁要件	実行履歴情報
PD001	職員の安全等の確保に関する調査の	1. 実施					
PD001	職業の確保等	1. 実施					
PD001	タクシー乗込及びタクシー乗車禁止	1. 実施					
PD001	一般乗用自動車自動車運送事業の転送	1. 実施					
PD001	運送仕事業実務情報の伝達	1. 実施					
PD001	運送仕事業実務情報の伝達	1. 実施					
PD001	タクシー乗車禁止	1. 実施					
PD001	乗車時間等の管理	1. 実施					
PD001	乗車時間等の管理	1. 実施					
PD001	乗車時間等の管理	1. 実施					
PD001	乗車時間等の管理	1. 実施					

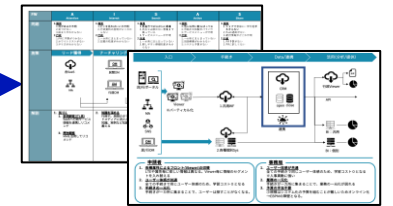
2. 調査結果の整理

結果の分析

- 各省庁システムでの認証/署名機能実施状況の整理
- 各省庁システムでの共通機能実装状況の整理
- e-Gov電子申請・審査支援サービスと各省システムの棲み分け整理
- 各省庁の行政手続類型化と共通システム化の方向性整理

3. 今後の整備計画の策定

- e-Gov・Jグランツの各省庁展開
- GビズID認証/署名の各省庁展開
- 共通機能の各省庁展開
- 将来的なプラットフォーム整理案



補助金調査の経緯（秋の行政事業レビュー及びデジタル行財政改革中間取りまとめ）

- ◆ 秋の行政事業レビューにおいて、事業者への迅速かつ効率的な給付を可能にするため、**国の既存の給付システムや民間の新たなデジタル技術の積極的な活用を検討**するよう、とりまとめられた。
- ◆ デジタル行財政改革会議の中間取りまとめにて、**2025年度から全補助金でオンライン申請が原則**と位置づけられた。

各省庁がオンライン化を進めるのではなく、オンライン化の現状を適切に把握し、デジタル庁で整備している共通機能（GビズID、Jグランツ、e-Gov等）を活用したデジタル化を各省庁に対してサポートしていくため、行政手続・補助金を対象に調査を実施。

主な論点

- 事業執行にあたり、再委託や複層的な外注を重ねたことにより、支出の無駄や非効率な業務が発生していなかったか。十分な情報開示がなされたか。
- 持続化給付金の支給額（約5.5兆円）についての十分な効果検証を行うべきではないか。
- 今後の危機に備えて、デジタル技術の活用も踏まえた事業者への適切かつ迅速な給付の在り方について検討するべきではないか。

秋の行政事業レビューの論点

（事業者のデジタル化等）

2023年11月に「事業者のデジタル化等に係る関係省庁等連絡会議」を設置し、取引・会計・税務などの事業者の一連の業務のデジタル化に関するPRやデジタル化された公的手続の周知、事業者向け行政手続のオンライン化に関する調査依頼などを行い、関係省庁・日銀が一体となって事業者のデジタル化等の加速に取り組む。

コロナ禍における事業者向け給付の反省を踏まえ、効率的な補助金申請や、データに基づく効果検証を行うため、法人によるGビズID取得を拡大するとともに、**2024年度より事業者向けの補助金申請でJグランツの利用を原則とする**ことを目指し、**2025年度からは全ての補助金でオンライン申請を原則とする**。

デジタル行財政改革 中間取りまとめ(R5.12.20会議決定)

事業者向け行政手続の全体像整理に向けた調査環境について

各府省の皆様との効率的かつ高速な情報共有・対応のため、デジタル庁が提供している共創PFのslackチャンネルを利活用



事業者向け行政手続の全体像整理に向けた調査環境について

各府省に共創PFに接続いただくため、各府省PMO及び各府省にデジタル庁より派遣している**DX推進員**とも協力し、可能な限りの多くの省庁に参加いただくため対応を進めているところ。（22府省庁/28府省庁）

参加済省庁 19省庁

内閣官房、内閣法制局、人事院、最高裁判所、宮内庁、公正取引委員会、警察庁、個人情報保護委員会、カジノ管理委員会、こども家庭庁、デジタル庁、総務省、法務省、外務省、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省

参加予定省庁 3府省

内閣府、文部科学省、防衛省

事業者向け行政手続の全体像整理に向けた調査環境について

各府省庁に対し、**DX推進員**を通じて、共創PF(Slack)/DXS(Salesforce)の接続について以下のサポートを提供：

- 共創PF/DXSへの各府省庁からの接続ハードルのチェック
- 各府省庁のセキュリティ担当との以下項目についての調整
 - ✓ ウェブサイト閲覧許可申請
 - ✓ ネットワークの設定・制限解除申請
 - ✓ ソフトウェアインストール申請
- 初回ログイン時の案内
 - ✓ 招待メールが不審メールに該当しないこと
 - ✓ 登録時の疑問
を担当者のデスクサイドでの説明・解消
- 他利用におけるサポート
- DXSの機能改善に向けた、使い勝手のフィードバック
- パフォーマンス課題の切り分け：DXS、各省庁のネットワーク、各省庁の端末でのチェック

DX推進員を通じて、平均3週間程度で共創PF・DXSの初回接続を提供

(参考) デジタル庁からDX推進員を派遣している省庁

デジタル庁からDX推進員（正式名称：政府DX推進専門員）を派遣している省庁は以下のとおり。

派遣済省庁 15省庁

内閣府、宮内庁、公正取引委員会、金融庁、消費者庁、こども家庭庁、総務省、法務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

本調査の基礎データ利活用の同意について

本調査において、各府省の入力負荷軽減のため、補助金管理システム（財務省主計局所管）のデータを利活用すべく、以下府省庁より利活用の同意をいただいたところ。

同意済省庁 22省庁

内閣官房、人事院、内閣府、宮内庁、公正取引委員会、警察庁、個人情報保護委員会、金融庁、消費者庁、こども家庭庁、復興庁、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省

事業者向け行政手続の全体像整理に向けた調査環境について

補助金管理システムから各府省の補助金データを取得するにあたり、財務省主計局総務課に以下ご協力いただいた。

- 補助金管理システムのデータに関するご説明
- 補助金管理システムのデータの利活用に関する各府省予算課とのご調整
- 各府省予算課との同意取り付けプロセスの整理
- 補助金管理システムのデータの抽出・データクレンジング
- 積極的な本調査へのご協力（共創PF・DXSへの数多くの担当者のご登録）

※デジタル行財政改革会議 予算DXご担当経由で主計局総務課へご紹介・ご調整いただいた

Jグランツの利用状況と次期システムに向けた改善について

Jグランツ活用行政機関の状況（2024年1月31日時点）

- 2024年1月現在、既に半数の省庁でJグランツをご活用頂いている
- 都道府県や政令都市を中心に自治体でもご活用いただいている

<府省庁> 14省庁/28省庁

- 総務省
- 法務省
- 文部科学省
- スポーツ庁
- 厚生労働省
- 農林水産省
- 林野庁
- 経済産業省
- 資源エネルギー庁
- 特許庁
- 中小企業庁
- 国土交通省
- 観光庁
- 環境省

<自治体> 28都道府県、16市町村

- 北海道
- 宮城県
- 秋田県
- 福島県
- 群馬県
- 埼玉県
- 東京都
- 石川県
- 福井県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 大阪府
- 兵庫県
- 和歌山県
- 島根県
- 岡山県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- さいたま市
- 横浜市
- 上越市
- 南魚沼市
- 高岡市
- 佐久市
- 名古屋市
- 堺市
- 八尾市
- 神戸市
- 岡山市
- 笠岡市
- 高松市
- 福岡市
- 久留米市
- 奄美市

J Grantsの次期システム更改（令和6年度）

- 「誰にでも使いやすいシステム」をめざし、次期システムを開発中（R7年度～運用開始予定）
- 年間約1000万件を処理できる処理能力の強化も実施し、助成金などにも対応可能に

＜補助金事務局（行政機関）向けの利用体験改善＞

- ・ 従来は、公募段階や交付段階などフェーズごとにページが分かれており進捗が把握しづらかった
→ **申請の流れを矢羽根で把握**でき、**全てのフェーズを俯瞰**して処理ができるように
- ・ 審査の流れの設定や条件別の分岐など細かいカスタマイズを行う画面が複雑で分かりづらかった
→ **カスタマイズする際に分かりにくい部分も、視覚的に表現**することで**直感的に設定可能**に

次期システムの画面例（事務局向け）

The screenshot shows the 'jGrants' interface for a public tender. At the top, there's a navigation bar with 'jGrants', '事業一覧', and 'お問い合わせ'. Below that, a header section reads '会社全体で強固に！情報セキュリティ対策事業 会社全体で強固に！情報セキュリティ対策事業'. The main content area features a progress bar with steps: '公募' (Public Tender), '交付' (Delivery), '事業実施' (Implementation), '事業終了' (Completion), '補助金額確定' (Grant Amount Confirmation), and '請求' (Request). The '審査履歴' (Review History) section is highlighted with a red box. Below this, there's a section for '差し戻し' (Returned) with a '審査ステータスを戻す' (Reset Review Status) button. The bottom part of the page shows a list of applications with details like '申請者' (Applicant), '申請書' (Application Form), and '申請内容確認' (Check Application Content).

The screenshot shows the 'jGrants' interface for setting the review process. The page title is '審査の流れ設定' (Review Process Setting). Below the title, there's a message: 'このページの項目は自動で設定されています。必要場合は編集してください。' (Items on this page are automatically set. Edit if necessary). The main content area is titled '公募' (Public Tender) and '公募申請' (Public Tender Application). A table is shown with the following columns: 'ステータス' (Status), '表示するボタン' (Buttons to Display), 'ボタンを押した後のステータス' (Status after Button Press), and '削除' (Delete). The table lists three buttons: '受け付ける' (Accept), '差し戻す' (Return), and '棄却する' (Reject), each with its corresponding next status. A red box highlights the table.

ステータス	表示するボタン	ボタンを押した後のステータス	削除
申請済み	受け付ける	採否登録	🗑️
	差し戻す	未申請	🗑️
	棄却する	棄却済み	🗑️

J Grantsの次期システム更改 (令和6年度)

<事業者向けの利用体験改善>

- 補助金検索すると、複数の補助金が一気に表示されるため、どの補助金が自分にあるかが分からない
→指定したどの条件に合致しているかを視覚的に表現し、分かりやすく
- 補助金に関する重要な情報（募集期間、補助率等）は各補助金の詳細ページを見ないと分からない
→検索結果画面で一覧で見えるように
- 気になる補助金が見つかったが、他の補助金を調べている間に見失ってしまう
→各補助金に「気になる」ボタンを新設し、後でまとめて閲覧できるように

次期システムの画面例（事業者向け）

The screenshot displays the jGrants website interface. At the top, there are navigation links for '補助金を探す' (Search for grants), '気になるリスト' (Grants of interest), '申請状況' (Application status), and 'お問い合わせ履歴' (Contact history). The user is identified as '事業者 太郎様' (Business owner Mr. Taro).

The main section is titled '補助金を探す' (Search for grants). It includes a search filter section with 'あなたの基本条件' (Your basic conditions) and a checkbox for '基本条件に部分一致するものも表示する' (Also display those that partially match the basic conditions). Below this are fields for 'キーワード' (Keywords) with '食品ロス' and 'コロナ' entered, and '注目キーワード' (Featured keywords) including 'コロナ', 'SDGs', 'エアコン', '食品ロス', 'IT導入', '事業継承', and '人材育成'. There is also a '利用目的' (Purpose of use) section.

The search results section, titled '検索結果一覧' (Search results list), shows '30 件の補助金が見つかりました。' (30 grants found). It includes filters for '並び替え' (Sort by), '表示件数' (Number of items to display), and '表示内容' (Display content). A red box highlights a specific grant result:

- Grant title: スマートワーク、デジタルトランスフォーメーション、セキュリティを強化 令和4年度中小企業等スマートワーク促進補助金（情報セキュリティ事業）
- Category: 設備投資, IT導入
- Rate: 補助率 2/3 (最大支給額5,0000,000円)
- Number of employees: 従業員数
- Grant number: 補助金番号: S-00000000
- Duration: 終了まで1年
- Collection period: 募集期間 2022年4月1日～2023年1月13日
- Action: 気になる (Interested)

Jグランツの導入支援として各種サポートを実施しています

• 毎月オンラインセミナーを開催

- 既にJグランツを利用中の方だけでなく、補助金事業の電子化を検討されている方にも、幅広く事前予約不要のオンラインセミナーを定期的で開催しています（参加は先着順）
- Jグランツの概要やメリット、デモ画面やスターターマニュアルの紹介などJグランツ導入のファーストステップをサポートします
 - ✓ 次回の開催日は3月21日(木) 14:00～15:00

• 随時、個別相談会を実施

- Jグランツの導入にあたっての確認事項や操作・セットアップ方法に関する質問等をオンライン会議で気軽に相談可能です
 - ✓ info@mail.jgrants-portal.go.jp にご連絡いただくことで予約が可能

情シス、会計担当、各補助金担当など原課の皆様にも広くご案内ください

デジタル庁
Digital Agency